

森

の通信



自然と歴史の大発見
宮崎県総合博物館

Miyazaki Prefectural Museum of Nature and History

発行日/2013年7月1日

発行/宮崎県総合博物館 〒880-0053 宮崎市神宮2丁目4番4号 TEL(0985)24-2071
http://www.miyazaki-archiv.jp/museum/ E-mail:hakubutsukan@pref.miyazaki.lg.jp FAX(0985)24-2199

よみがえる恐竜時代

陸海空の絶滅生物たち



クラッソメドン
三重県立博物館所蔵

監修/群馬県立自然史博物館名誉館長
長谷川 善和

©SUGAYA

宮崎県総合博物館
2013年

7/13(土) ⇒ 9/1(日)

観覧時間 9:00~17:00 (入場は16:30まで)

観覧料: 大人1000(800)円、小中高生500(300)円

※7/13は開会式のため10:00開場 8/24・25は21:00まで(入場は20:30まで)

※()は20名以上の団体 ※未就学児は無料 ※身体障害者手帳、療育手帳、障害者手帳をご持参された方はご本人と介護者1名の方は無料

恐竜が陸上に繁栄した時代には海や空にも多くの生物が登場しました。27mの恐竜、12mの首長竜、10mの翼竜など巨大生物を中心に中生代の不思議な生物を陸・海・空3つのコーナーで紹介します。

おもな展示内容

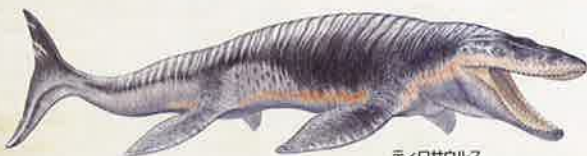
※宮崎県総合博物館の独自企画で他の施設では展示されない内容です。

恐竜時代の海コーナー

日本初の首長竜フタバサウルスは産状、骨格、復元模型などで特集展示! 全長12mクラッソメドン、全長8mヒドロテロサウルスなど首長竜6種の充実展示! モササウルス類は3種を最新研究にもとづく復元で紹介、アンモナイトは生体復元模型を初公開、世界最大のウミガメアーケロンなども展示!



ティロサウルス
宮崎県総合博物館所蔵



ティロサウルス

©SUGAYA

恐竜時代の空コーナー

アンハングエラ
群馬県立自然史博物館所蔵



翼開長10m世界最大級の翼竜ケツアルコアトルス生体復元模型、タペアラ、トップクスアラなど全身復元骨格3種が空を舞う、アンハングエラ実物全身骨格は貴重!



アンハングエラ

恐竜時代の陸コーナー

全長27mの竜脚類ディプロドクスと獣脚類アロサウルスの戦いを全身復元骨格で再現展示、全長7mトリケラトプス、剣竜類トウジャンゴサウルス、鳥脚類プロバクトロサウルスなど全身骨格を多数展示。



トリケラトプス
三重県立博物館所蔵



トリケラトプス

講座紹介

記紀編さん1300年「交差する歴史と神話 みやざき発掘100年」記念講座 『みやざき発掘100年物語』5回シリーズ



北郷泰道氏が大正初期に宮崎県が高名な考古学者を招へいし全国に先駆けて本格的に実施した西都原古墳群の発掘調査について、調査に至る歴史的背景を交えながら解説しました。受講者は100名を超え、熱のこもった講座となりました。

(考古担当：永友良典)

総 合博物館では、県埋蔵文化財センターと共催で「みやざき発掘100年物語」5回シリーズ講座を開催します。

この講座は西都原古墳群から始まった宮崎の発掘調査100年の歴史を時系列にたどり、本県の遺跡発掘の推移とこれからの展望について解説する講座です。

第1回講座は『「すべてはここから始まった」—西都原古墳群の発掘調査—』をテーマに5月26日(日)に実施しました。

講師の

これからの予定

会場：研修室1
(第2回のみ県立図書館)

7月7日(日) 13:00~15:00

「戦後の宮崎の考古学調査—宮崎県と私の関わり—」

第3回 10月20日(日) 13:00~15:00

「発掘調査に追われた日々—経済成長期からバブル崩壊へ—」

第4回 11月10日(日) 13:00~15:00

「高速道路網を整備せよ—東九州自動車の発掘調査—」

第5回 2014年2月16日(日) 13:00~15:00

「考古学に何ができる—これからの遺跡の活用—」

宮崎の自然情報

アカテガニの産卵

赤 いカニの群れが、山から河川・海岸に向かって移動しているのを見かけたことはありませんか？ その赤いカニが「アカテガニ」です。

日本では普通に見られ、水中ではなく海岸付近の山の中に生息しているカニです。名前のおりハサミは赤く「さるかに合戦のモデル」ともいわれています。

7月~9月の大潮(満月か新月の日)の夜、満潮の時間に合わせて河川・海岸に集団で現れ、産卵および次の産卵のための交尾を行います。

メスは、お腹にかかえたふ化直前のたくさんの卵を、水中で体をブルブルと震わせて放します。放たれた卵はすぐに割れ、カニのゾエア幼生になります。1度に約3

万個の卵をこの期間に3回放出します。産卵と交尾が終わると、再び山へと戻っていきます。

宮崎県内各地でこの光景は見る事ができるので、一度じっくり観察してみたいはいかがでしょうか？

(動物担当：山田真太郎)



歴史展示室展示紹介

ご存じですか？ 今年は置県130年！

1873年(明治6)に設置された宮崎県は、3年後、鹿児島県に併合されました。そして、1877年の西南戦争により、日向国内は大きな損害を受けました。しかし、日向国が鹿児島県下にあるため、西南戦争後の復興がなかなか進みませんでした。そのため、川越進(1848～1914)らが中心となり、鹿児島県からの分県運動を進めました。約3年間にわたる分県運動は結実し、1883年5月9日、宮崎県の再置が認められました。



歴史展示室「宮崎県の誕生と発展」コーナーには、1873年の「宮崎県設置達」、1876年の「鹿児島県併合達」、そして分県運動に関する「日向国分県請願書」や「請願却下状」「再置県布達」などの資料を展示しています。置県130年をきっかけに、博物館で本県の歴史を学んではいかがでしょうか。(歴史担当:佐藤省吾)

植物部門収蔵資料紹介

秋の七草



春の七草の「芹 なづな 御行 はこべら 仏座 すずな すずしろ」は七草粥でなじみ深いものです。それに対し「秋の七草」はそれを摘んだり食べたりするものではなく、眺めて楽しむものとされています。

山上憶良が万葉集の中で次のような詩を詠んでいます。

秋の野に 咲きたる花を 指折り かき数ふれば 七種の花
萩の花 尾花 葛花 撫子の花 女郎花 また藤袴 朝貌の花

「尾花」とは「ススキ」、「朝貌」は「キキョウ」の花を指しています。

総合博物館では、年次計画で「秋の七草」の植物レプリカを作成してきましたが、24年度ですべてが揃いました。今では、本物の七草を揃えることが難しくなっています。県内でも「撫子」のカワラナデシコは準絶滅危惧種、朝貌のキキョウは絶滅危惧IA類に指定されており、フジバカマに至っては県内では確認されていません。秋には「秋の七草」の植物レプリカの展示を行いますので、楽しみにお待ち下さい。(植物担当:岩切勝彦)

利用者からの問い合わせ

Q 佐土原人形の「饅頭喰い人形」は、男の子か女の子のどちらですか？

A 佐土原人形は、宮崎市佐土原町で製作されている土人形です。その起源については不明ですが、江戸時代の終わり頃から製作されたと考えられます。大正時代に書かれた書物に、佐土原人形師の話として、髻を付けて工夫したことが書かれており、大正時代から女の子として製作されました。全国の土人形の饅頭喰い人形は男の子として作られていますが、女の子として作られているところはありません。(民俗担当:小山博)



展示解説員の声

作小屋

民 俗展示室には、西米良村竹原の作小屋をモデルにした建物があります。宮崎の山間部では、かつて焼畑が盛んに行われていました。

耕作地は集落から離れた山奥なので、作業や生活の効率化のため、耕作地の近くに本宅とは別に小屋を建てました。1年の大半を過ごすので本宅と変わらない造りで生活道具も揃っています。

当館の作小屋は、実際に上がることができます。小屋の室内や周りからは、囲炉裏の火音や薪割りの音、虫の音などが聞こえてきます。また、作小屋の前には、ハンテンなどの昔の着物があります。それを着て囲炉裏の前に座ってみてはいかがでしょうか。
(展示解説員：中武享子)



置県 130年記念 宮崎の魅力実感! 美(び)・図(と)・博(はく) 3館見学ツアーのお知らせ

宮崎県立美術館、宮崎県立図書館及び宮崎県総合博物館の3館では、宮崎の魅力を実感できる見学ツアーコースを設定し、広く県民の皆さまに御紹介する「宮崎の魅力実感! 美・図・博 3館見学ツアー」を実施しています。

■見学のお申し込みやご相談は総合博物館まで TEL 0985-24-2071

■詳しくは博物館ホームページをご覧ください。

検索 宮崎県総合博物館

燻蒸休館のお知らせ 9月9日(月)～19日(木)は館内燻蒸のため、休館します。

博物館講座のお知らせ

7/27 土曜日 標本講座 宮崎のミニ岩石図鑑をつくろう

県内の岩石について学習し、小さな標本で「宮崎県のミニ岩石図鑑」をつくります。

時間 10:00～12:00
対象 小・中・高・一般
場所 研修室1
定員 25名

募集期間 6月29日(土)～7月13日(土)

7/28 日曜日 標本講座 チリモンをさがそう

ちりめんに含まれる小さな海の生物(チリモン)をさがし観察します。

時間 10:00～12:00
対象 小・中・高
場所 研修室1
定員 50名

募集期間 6月30日(日)～7月14日(日)

7/29 月曜日 標本講座 押し葉標本をつくろう

標本の採り方、押し葉の仕方、台紙への貼り方を実際に体験しながら学習します。

時間 10:00～12:00
対象 小・中・高・一般
場所 研修室2
定員 25名

募集期間 7月1日(月)～7月15日(月)

8/3 土曜日 組ひも製作体験

組ひもの概略を学び、キーホルダーなどの作品を実際に製作します。

時間 13:00～15:30
対象 小・中・高・一般
場所 研修室1
定員 30名

募集期間 7月6日(土)～7月20日(土)

8/4 日曜日 熊野江干潟の生きものを観察しよう

干潟に生息する生きものを観察し、生きもの名前や特徴などを学習します。

時間 10:00～12:00
対象 小・中・高・一般
場所 延岡市熊野江干潟
定員 60名

募集期間 7月7日(日)～7月21日(日)

8/18 日曜日 採集作品の名前を調べる会

夏休みに採集した植物・昆虫・貝・岩石・化石の名前を調べます。

時間 10:00～15:00
対象 小・中・高・一般
場所 情報室
定員 なし

※事前申し込み不要